

■具体的な授業の流れ

テーマ：「動物の動きを表現する」

制限時間：30秒程度の作品（24fpsを標準とする）

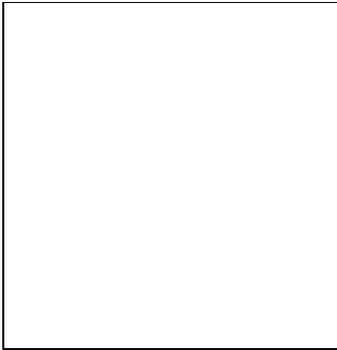
回数	内容	留意点
(1)	見本作品や先輩の作品をみる 【TV番組「クワックワオ!アヒルのこ」をみる】	●最初から制作に対して、生徒が萎縮しないように、見せるレベルの作品を見定める
(2) 以後に説明	グループ決めとストーリーの検討 【製作する物語のテーマや内容を考える】	●ブレインストーミングでたくさんのアイデアを出し、グループでじっくり考える
(3) 以後に説明	絵コンテと台本作り	●ストーリーが決まったら、絵コンテを作り、流れなどを視覚的に表現する ●台詞や効果音についても考えておく
(4)	キャラクターや背景をつくる	●絵コンテを元に作る ●折り紙でイメージに合うようなキャラクター作りに取り組む
(5)	撮影	●少しずつキャラクターを移動させたり形を変えて撮影する。この1コマの動きが小さいほどスムーズに動いてみえる
(6)		●前の単元で学んだ「カメラアングルやフレームサイズ」についてもしっかり活かした撮影を行う
(7) 以後に説明		●著作権などもついて、この時期から考えさせはじめる
(8)	画像を加工する 【必要ならばテロップを入れる】	●不必要なコマを削除して、台詞や効果音などの大きさを考えながら、各シーンのコマ数の大きさを調整する
(9)	映像の編集とアフレコ 【オーサリング】	●必要に応じて音声やBGM・効果音などを入れる
(10)	発表と評価	●相互評価と自己評価を組み合わせで行う ●イントラネットで他クラスの作品もみることができるようにする

(2) キャラクターはこんなのです！

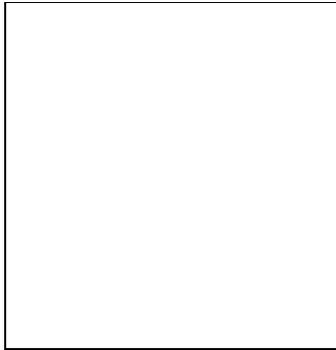
※登場するキャラクターのラフスケッチを書いてみよう！

【キャラクター】(縮小版)

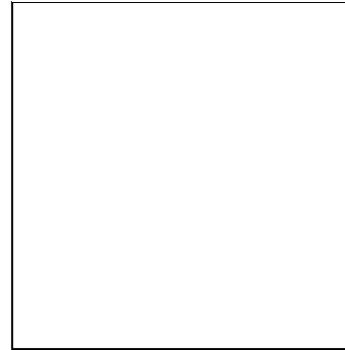
①



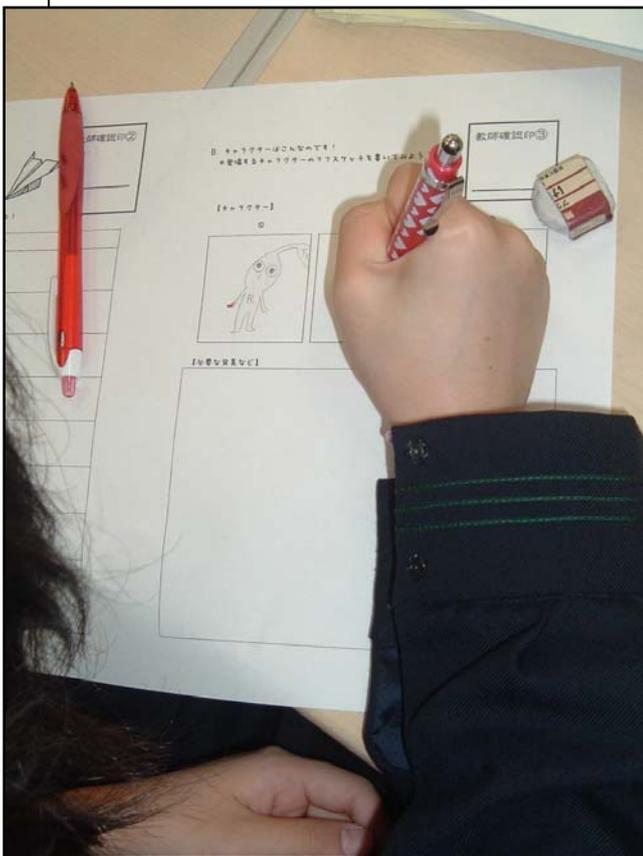
②



③

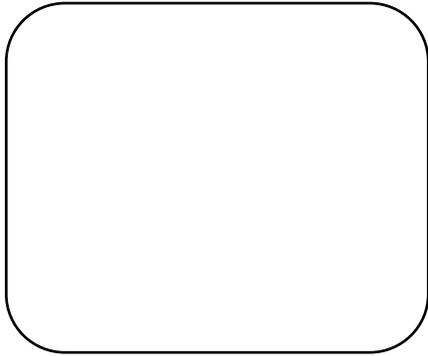
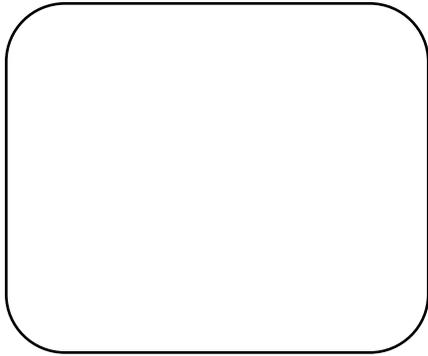


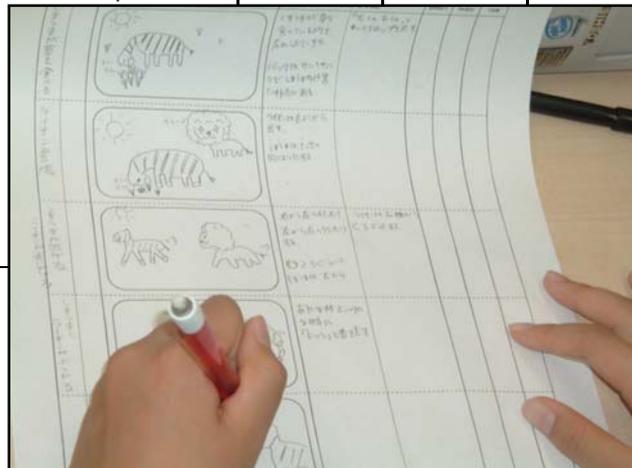
【必要な背景など】



- ①各々が考えたキャラクターを書き出してみる。
- ②大事な主人公などのイメージは、必ず共有する。
- ③必要になる背景などもラフスケッチでよいので記入する。
- ④必要事項を書き終えたら、実際のキャラクターを折り紙で作成する。
- ⑤実際の折り紙での制作とギャップが、できるだけ少なくなるように注意して制作する。

(3) 絵コンテ作り
(縮小版)

SCENE	CUT	PICTURE	VISUAL IMAGE	EFFECT	MUSIC	TIME
						
						
						



- ①撮影前の絵コンテ作りは、台本ともいえるものなのでとても重要な作業になる。
- ②グループ全員で同じものを作り、共通認識を行う。
- ③各シーンで注意したい項目などについても、しっかりと話し合って詰めておく。
- ④効果音などのイメージも話し合い、撮影と同時進行で制作できるようにする。
- ⑤最終的な台本であるので、教師は現実可能なものかどうか適宜指導する。

(7) 著作権について

ポイントになる3つの指導

①心やモラルの観点を持って、想像してみる

アイデアの段階では、著作権は発生しないことは、前段階での授業で学んでいる。法的な視点と道徳的な視点で、次のようなことを想像してみる。

ワークシートより抜粋

B. アイデアを盗む？受け継ぐ？

●アイデアを盗む（まねすることはよいこと？悪いこと？）

よい面・・・・・・・・

悪い面・・・・・・・・

●模倣と独創の境界線（認められるマネと認められないマネ）

あなた達の考え

→

②社会的な動向がどうなっているのかを知る。

日々ニュースになっている著作権問題の多さを実感する。

ワークシートより抜粋

C. 最近の著作権違反に関する事例を探してみよう。

インターネットや新聞などを使って調べてください。

③身の周りのことについて考えてみる。

自分たちの周りでも、知らないうちに侵害していた行為を考え直す。

ワークシートより抜粋

D. 記述課題

あなたたちの身近な行為が、知らないうちに著作権を侵害していた行為を例に挙げ、著作権の基本的な考え方や原則と照らし合わせて、侵害している箇所やこれからの思いについて述べなさい。
(書ききれなかったら裏を使うこと)